

仮設店舗の復興は順調なのか

542班 佐藤日和 神山真由 小野寺苑果

1 序論

背景・目的

- ・仮設施設の土地や人手の課題についてメディアで取り上げられていたから。
- ・仮設を使用している人の気持ちを知ることができる。
- ・復興状況を把握してほしい。

2 本論

仮設施設

- ・震災後5年で復興できなかった。
- ・仮設住宅は小さな公園、学校から撤去・気仙沼市5カ所に集約。
- ・移転・撤去には時間や手間が掛っている。
- ・子供たちの遊ぶ場や高齢者が安心して生活できる環境を設ける必要がある。
- ・被災者の心のケアのために、様々な活動を行っている。

団地名	H29.3	H30.3	H31.3	団地の分類
気仙沼中学校住宅	撤去・復旧			集約する
気仙沼公園住宅				集約先
反松公園住宅				集約先
田谷公園住宅	撤去・復旧			集約する

現状

年度	完成後5年を経過する施設数	28年度撤去予定件数		延長又は譲渡可能施設数
		土地区画整理事業による撤去	入居者・土地所有者都合による撤去	
28	28件	4件	3件	21件
29	28件	4件	未定	24件
30	5件		未定	5件
31	1件		未定	1件
32	2件		未定	2件
計	64件	8件	3件	53件

気仙沼H28 25件 4件 1件 21件

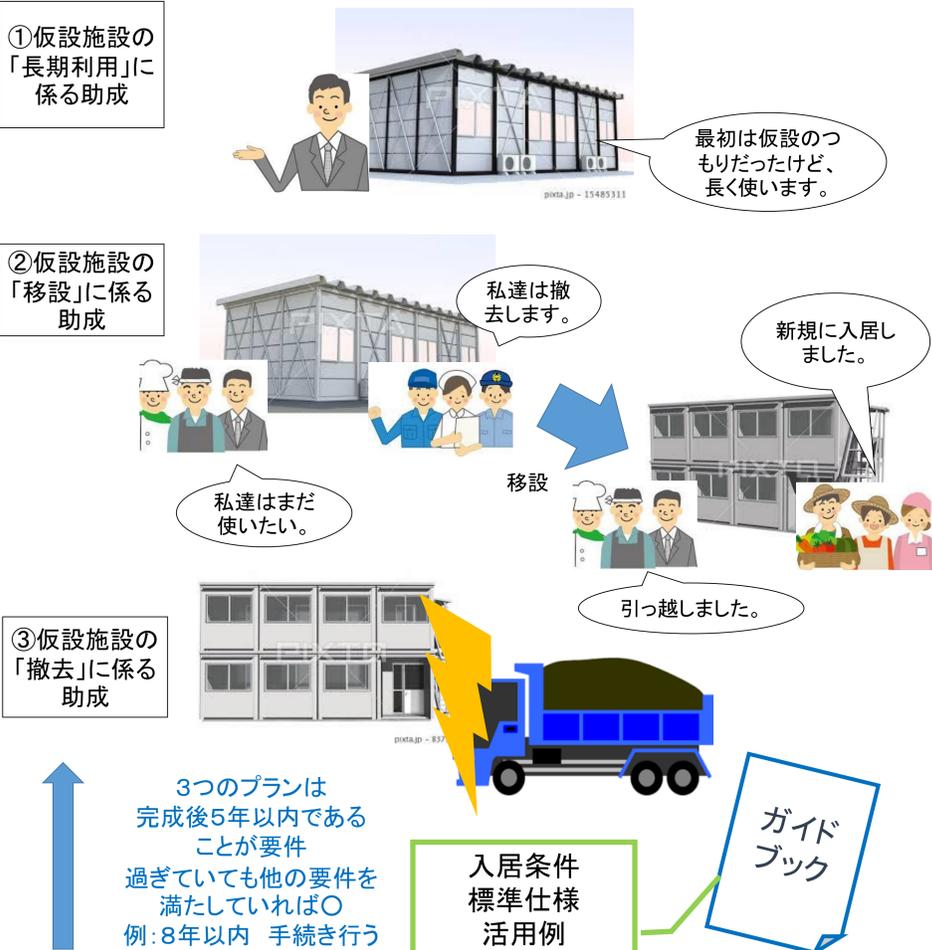


<https://goo.gl/images/8qcAIA>

もともと照明、電源、上水、排水、電話、TV、トイレが設備されている。

助成

助成とは...事業、研究の完成を助けること
助成金とは...融資とは異なり、返済の必要がない資金のこと



アンケート

インタビューする前の班の予想



今も仮設店舗で営業しているお店

Q1仮設店舗のままがいいか [[はい]]	・今まで来てくれたお客さんが来れなくなりそうだから ・今整った環境でできているから
[[いいえ]]	・トイレが外にあり、雨の日や寒い日は不便だから ・多くの人数が入れない ・駐車場がせまい・良い環境で働きたい
Q2助成などのプランについて どう思うか	・それぞれにあった内容で、支援金もただけて嬉しい。 ・予定していた期限よりも長く、もらえる金額も高くなって嬉しい。 ・本店に移ったときのために残したり、計画を決めて使わなければならないから大変 ・使い勝手が悪い・書類が多い ・報告が大変・わからない人もいる



本店に移ったお店

Q1本店に戻ろうとした理由	・震災前と同じ場所で働きたかった。 ・自宅から仮設までの移動が不便(自営業)
Q2計画通りに行ったか	・店に合った場所がなかった ・建てるまでの過程が生まれて初めての経験だったから

復興は順調か

[[はい]]	・市の人達が頑張ってくれている
[[いいえ]]	・土地、人手が不足していることが現状 ・みんなそれぞれの考えがあり、まとまらない・市に頼りすぎている ・沿岸の復興が進まないから



<https://goo.gl/images/yjJAJI>



<https://goo.gl/images/2QJBK9>

3 結論

・実際に働く人は復興が順調であると思ってない。

⇒仮設店舗の復興は順調ではない

4 課題

- ・人手、費用不足の問題は何年経っても変わらない。
- ・助成について理解できていない人がいる。
- ・海岸が復興しないと街中の方も移動できない。
- ・市に頼りすぎている。
- ・お客さんが来てくれるか心配。

高校生がポスターや新聞などでお店を宣伝する

5 参考文献

[マンボ シェ・ササキ 亀山精肉店 おだづまっこ アンカーコーヒー エスポアール こけし らいむらいと]

[仮設施設整備事業ガイドブック]